

## 令和3年度 農業科（ハイテク農芸科）

教科	農業	科目	農業科学	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材等	「作物」「野菜」「果樹」「草花」（いずれも実教出版）						

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

作物、野菜、果樹、草花・造園の栽培や生産、利用に関する基礎的、共通的な知識、技術について学習します。

## 2 学習の到達目標

- ・農業に関する基礎的な知識と技術（生理・生態・栽培に適した環境・利用）について、総合的、横断的に理解する。
- ・科学的思考力と問題解決能力を伸ばし、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

## 3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	園芸植物の栽培育成や利用及び安全な食糧生産と農場管理技術に興味・関心を持ち、科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	園芸植物の栽培育成や利用及び安全な食糧生産と農場管理技術に思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	園芸植物の栽培育成や安全な食糧生産と農場管理に関する基礎的な技術を身に付け、園芸植物の育成や利用に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	園芸植物の栽培育成や安全な食糧生産と農場管理技術について理論的な知識を身に付け理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートの記述 レポート、発表 自己評価等	学習状況の観察 ノートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己・相互評価等	学習状況の観察 ノートの記述 レポート、発表 定期考査、自己・相互評価等	学習状況の観察 ノートの記述 レポート、発表 定期考査の結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	栽培技術	○農業技術と理論 ・土の管理 耕うん、畝立て 土づくり ・苗の管理 育苗、定植 ・水の管理 かん水、水田 ・作物の管理 整枝、剪定 人工授粉 開花調節 施肥 ・雑草、病虫害防除	○	○	○	○	a: 農業技術とその理論に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 日ごろの農場管理技術について理論的に理解し判断・表現する姿が見られる。 c: 農場管理技術を身に付けている。 d: 農場管理技術の理論について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート レポート 発表 自己・相互評価 定期考査
2学期	各作物の特性と栽培、収穫・調整	○作物・野菜・果樹・草花の特性と栽培 ○作物・野菜・果樹・草花の収穫・調整 ・ポストハーベスト	○	○	○	○	a: 各作物の特徴に関心を持ち意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 各作物の特徴を分析し人間と植物とのかかわり、安全性などについて思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 農場管理や利用に関する総合的な知識を活かし活用できる。 d: 農場管理、園芸と人とのかかわりを理解し、栽培や利用に関する知識を身につけている。	授業観察 ノート レポート 自己・相互評価 定期考査
3学期	作物別の特性と栽培、収穫・調整	○作物・野菜・果樹・草花の栽培の特徴 ○作物・野菜・果樹・草花の収穫・調整	○	○	○	○	a: 各作物の特徴に関心を持ち意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 各作物の特徴を分析し人間と植物とのかかわりについて、課題を見い出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 栽培や利用に関する総合的な知識を活かし活用できる。 d: 農業、園芸と人とのかかわりを理解し、栽培や利用に関する知識を身につけている。	授業観察 ノート レポート 発表 自己・相互評価 定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度      b: 思考・判断・表現  
c: 技能      d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。